

HP Jetdirect プリント サーバー

管理者用ガイドの補遺 – HP Jetdirect 2700w USB ソリューション プリント サーバー (J8026A)



概要	2
Telnet のコマンドとパラメータ	2
HP 内蔵 Web サーバー	3
Networking (ネットワーキング) タブ	3
[TCP/IP Settings] (TCP/IP の設定)	3
[Authorization]	3
[802.1X Authentication]	3
[Device Announcement Agent] (デバイス通知エージェント)	3
[HP Web Services] (HP Web サービス) タブ	5
HP 内蔵 Web サーバを使用した HP Web サービスの有効化	5
HP ePrintCenter でのプリンタの登録	5
HP ePrintCenter の機能	6
HP ePrint 電子メール アドレスのリセット、ePrint の一時的な無効化、または ePrint の削除	6
HP Jetdirect のグラフィカル コントロール パネル メニュー	6

著作権およびライセンス

© 2012 Copyright Hewlett-Packard Development Company, L.P.

事前の書面による許可なく複製、改変、変換することは、著作権法で許可されていない限り禁じられています。本文書の内容は、事前の通知なく変更される可能性があります。HP

の製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品またはサービスに付属の明示的な保証条項で規定されます。本文書のいかなる部分も、追加の保証を構成するとは見なされません。HP

は、本文書に含まれる技術的または表記上の誤記や欠落について、一切の責任を負わないものとします。

商標について

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Server®、および Windows Server System® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

VMware® は VMware, Inc. の登録商標です。

該当製品 : J8026A

Edition 1, 9/2012

概要

この補遺は、HP Jetdirect 2700w USB ソリューション プリント サーバーに必要な『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』（HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド）の変更点を説明するものです。

注記：HP Jetdirect プリント サーバーに関するすべての情報については、次の『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』（HP Jetdirect プリント サーバー管理者用ガイド）を参照してください。

<http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Product.jsp?lang=en&cc=us&taskId=101&contentType=SupportManual&docIndexId=64255&prodTypeId=18972&prodCatId=236254>

Telnet のコマンドとパラメータ

次の表に、HP Jetdirect 2700w プリント サーバーの新しい Telnet コマンドと変更された Telnet コマンドを示します。

コマンド	説明
Wireless Mode	802.11 ワイヤレス モード。 B/G_MODE:802.11b または g を使用します。 B/G/N_MODE (デフォルト):802.11b、g、または n を使用します。
Guard Interval	転送される符号 (文字) の間隔です。符号間干渉 (ISI) を除去できます。ISI は、ある符号のエコーや反射が別の符号と干渉する場合に発生します。間隔を長くするとエコーを削減できますが、データ速度が低下します。間隔を短くすると、データ速度が約 10% 向上します。 AUTO (デフォルト):ワイヤレス モードに基づいてガード間隔を設定します。 SHORT:短い間隔 (400 ナノ秒) に設定します。 LONG:長い間隔 (800 ナノ秒) に設定します。
AMSDU Aggregation	集約 802.11 MAC サービス データ ユニットは、フレームにまとめられるため、オーバーヘッドが削減され、データ速度が向上します。集約を有効にすると、7,935 バイトの最大フレームサイズを利用できます。 ENABLE (デフォルト):集約を有効にします。 DISABLE:集約を無効にします。
Block ACKs	AMPDU のブロック確認応答を使用します。 このメカニズムでは、集約されたデータ フレームそれぞれに対して個別に確認応答または再転送 (エラーが発生した場合) できます (このコマンドは、AMPDU Aggregation が有効な場合にのみ使用できます)。 ENABLE (デフォルト):AMPDU のブロック確認応答を有効にします。 DISABLE:AMPDU のブロック確認応答を無効にします。
AMPDU Aggregation	集約 802.11 MAC プロトコル データ ユニットは、フレームにまとめられるため、オーバーヘッドが削減され、データ速度が向上します。集約を有効にすると、64KB の最大フレームサイズを利用できます。 ENABLE (デフォルト):集約を有効にします。 DISABLE:集約を無効にします。
SLP Client-Mode	Service Location Protocol (SLP) を使用して、ネットワーク上のプリンタを検出し、インストールします。 0 (デフォルト):無効。

	1:有効。
[LLMNR]	LLMNR (Link-local Multicast Name Resolution) を使用します。 0:無効。 1 (デフォルト):有効。
HopLimit/WSD	サイトのローカル IPv6 マルチキャスト パケットに対する WS-Discovery ホップ制限を設定します。
Panic Behavior	パニック状態が発生した場合のプリンタの動作を設定します。 DUMP_AND_REBOOT JUST_REBOOT DUMP_AND_HALT JUST_HALT FULL_DUMP_AND_REBOOT FULL_DUMP_AND_HALT
hw-acclrn-conf	ハードウェア アクセラレーションを使用します。 0:無効。 1 (デフォルト):有効。

HP 内蔵 Web サーバー

HP 内蔵 Web サーバの [ネットワーキング] タブと [Web Services] (Web サービス) タブにおける変更点について説明します。

Networking (ネットワーキング) タブ

[TCP/IP Settings] (TCP/IP の設定)

[Advanced] (詳細) タブに、[CCC Logging] (CCC ログ) 項目が追加されました。デフォルトでは、HP カスタマ ケア センタ ログ (CCC ログ) が有効になっています。ログを無効にするには、チェックボックスをオフにします。

[Authorization]

デフォルトでは、HP Jetdirect プリントサーバーには、あらかじめインストールされた自己署名証明書が含まれています。この自己署名証明書を使用すると、[Encryption Key Length] (暗号化キーの長さ) 項目で、暗号化キーの長さに 2,048 ビットを選択できるようになりました。

[802.1X Authentication]

PEAP と EAP-TLS のどちらのプロトコルも、動的暗号化キーを使用して安全な通信を確保します。認証に失敗した場合、新しい [On Authentication Failure] (認証失敗時の動作) 項目で設定することで、そのまま接続することもアクセスをブロックすることもできます。

[Device Announcement Agent] (デバイス通知エージェント)

[Announcement Agent] (通知エージェント) メニュー項目を使用して、HP デバイス通知エージェントを有効または無効にしたり、設定サーバーを指定したり、証明書を使用した相互認証を要求するかどうかを指定したりします。有効にすると、デバイスが初めてネットワークに接

続したときに、HP デバイス通知エージェントから設定サーバーに通知が送信されます。
その後、設定サーバー (HP Imaging and Printing Security Center など)
から、確立済みの設定がデバイスに送信されます。

デフォルトでは、HP デバイス通知エージェントが有効になっています。

項目	説明
[Enable Device Announcement] (デバイス通知の有効化)	このチェックボックスを選択すると、デバイス通知が有効になります。このチェックボックスをオフにすると、デバイス通知が無効になります (デフォルトでは、デバイス通知が有効になっています)。
[Configuration Server IP Address (v4/v6)] (設定サーバーの IP アドレス (v4/v6))	設定サーバーの IP アドレスを入力します。デフォルトでは、通知エージェントは DNS ホスト名「hp-print-mgmt」を使用して設定サーバーを検出します。
[Require Mutual authentication via certificates] (証明書による相互認証を要求)	証明書を使用した相互認証を要求する場合は、このチェックボックスを選択します。相互認証を要求しない場合は、このチェックボックスをオフにします (デフォルトでは、相互認証を要求しません)。

[HP Web Services] (HP Web サービス) タブ

この新しいタブを使用して、HP Web サービスを有効にし、HP ePrintCenter に接続します。HP ePrint は、モバイル デバイスから任意の HP ePrint 対応デバイスを使用した印刷を可能にする、HP の無料サービスです。

注意：HP ePrint

の機能を使用するには、プリンタがネットワークに接続されていて、インターネットにアクセスできる必要があります。

HP 内蔵 Web サーバを使用した HP Web サービスの有効化

HP 内蔵 Web サーバを使用して、プリンタで HP Web サービスを有効にするには、次の手順を実行します。

1. HP 内蔵 Web サーバを開きます。
2. **[HP Web Services]** (HP Web サービス) タブを選択します。
3. 企業がプロキシ サーバを使用している場合は、**[Configuration]** (設定) メニューの **[Web Proxy]** (Web プロキシ) メニューをクリックし、設定情報を指定します。**[Apply]** (適用) をクリックして設定を完了します。
4. **[Configuration]** (設定) メニューの **[Web Services Setup]** (Web サービスの設定) メニューをクリックします。
5. **[Enable HP Web Services]** (HP Web サービスの有効化) をクリックします。HP 内蔵 Web サーバが HP ePrintCenter に接続され、サービスが有効になります。正常に完了すると、メッセージが表示されます。
6. 手順ページで、固有のコードを使用した登録方法に関する情報を確認します。

注意：ePrint システムによって、手順ページに表示されているプリンタに対し、固有の電子メールアドレスが生成されます (電子メールアドレスを表示するには、プリンタのコントロール パネルで **[接続方法] ボタンを押します)。アドレスのローカル部分は文字と数字の組み合わせで、その後ろは @ 記号です。ドメイン名は必ず hpeprint.com です。**

HP ePrintCenter でのプリンタの登録

手順ページを利用して、HP ePrintCenter (www.hpeprintcenter.com) で固有のプリンタコードを使用してプリンタを登録します。

注意：プリンタ固有のコードの有効期間は 24 時間です。

この期間内に登録できない場合は、手順ページを再印刷して、新しいコードを作成できます (**[HP Web Services]** (HP Web サービス) タブを選択し、**[Print Instruction Page]** (手順ページの印刷) をクリックします)。

HP ePrintCenter の機能

プリンタを登録したら、HP ePrintCenter

を使用して詳細なセキュリティを設定し、承認されたユーザーへの電子メール ステータス メッセージを有効または無効にします。さらに、プリント キューを監視して、ステータスを確認するか印刷ジョブをキャンセルします。

HP ePrint 電子メール アドレスのリセット、ePrint の一時的な無効化、または ePrint の削除

- **電子メールのリセット** - プリンタの電子メール アドレスをリセットするには、お使いのアカウントで HP ePrintCenter にログインし、**[Advanced]** (詳細) タブを選択します。**[Reset]** (リセット) ボタンをクリックして、プリンタの新しい電子メール アドレスを取得します (**[Allowed Senders]** (許可された送信者) リストのすべてのアドレスに、新しい電子メール アドレスを手動で伝達する必要があります)。
- **HP ePrint の無効化** - HP ePrint を一時的に無効にするには、HP 内蔵 Web サーバを開き、**[HP Web Services]** (HP Web サービス) タブを選択して、**[Enable HP ePrint]** (HP ePrint の有効化) チェックボックスをオフにします。HP ePrint アカウントとプリンタの設定は、保持されます。HP ePrint を有効にするには、**[Enable HP ePrint]** (HP ePrint の有効化) チェックボックスをオンにします。
- **HP ePrint の削除** - HP ePrint をコンピュータから完全に削除するには、HP 内蔵 Web サーバを開き、**[HP Web Services]** (HP Web サービス) タブを選択して、**[削除]** をクリックします。HP ePrint を削除すると、プリンタの HP ePrint 設定が消去され、お使いの HP ePrintCenter アカウント、設定、およびすべてのプリンタ履歴が消去されます。

HP Jetdirect のグラフィカル コントロール パネル メニュー

次の表に、グラフィカル コントロール パネル

メニューの新しいオプションと変更されたオプションを示します。

メニューまたはサブメニュー項目	値と説明
[ワイヤレスモード]	802.11 ワイヤレス モード。 B/G_MODE:802.11b または g を使用します。 B/G/N_MODE (デフォルト):802.11b、g、または n を使用します。
[ワイヤレス設定モード]	コールド リセットまたは再起動後にプリンタが自動的にこのモードになるかどうかを指定します (HP Jetdirect 2700w プリント サーバーを初めてインストールした場合、プリンタはこのモードになります)。 On-Reboot が必要 オフ

[接続方法]	IP アドレス、ホスト名、プリンタの ePrint アドレス (電子メール アドレス) など、接続情報を指定します。
--------	--